

平成27年度1月定例教育委員会会議録

1. 日時	平成28年1月20日（水）（午後3時から）
1. 場所	市来庁舎 3階会議室
1. 委員会に出席した人	<p>富永伸博委員長・徳重涼子委員・福田恵一委員・宮之原加代子委員 有村孝教育長</p> <p>白井総務課長・松山学校教育課長・紙屋社会教育課長・中村市民スポーツ課長・鶴田給食センター所長・桃北学校教育課長補佐・高瀬社会教育課長補佐・野元市民スポーツ課主幹・宇都口給食センター所長補佐 書記 後潟総務課主幹</p>
1. 附議事件	なし
富永委員長	<p>只今から1月定例教育委員会を始めます。 教育長の挨拶をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">（有村教育長挨拶）</p>
富永委員長	委員の先生方には、先に配布してありました12月定例教育委員会の会議録について、何かご意見はなかったでしょうか。
各委員	何もありません。
富永委員長	ご意見が無いようですので、12月定例教育委員会の会議録については承認いたします。
富永委員長	<p>本日は、附議事件がありませんので、その他、各課からの連絡報告事項をお願いします。</p> <p>【その他事項】</p>
白井課長	<p>○いちき申木野市立小・中学校の統廃合について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校の適正規模・適正配置に係る動き（国・市）について説明。 2 学校統廃合検討作業の基本的な考え方について説明。 <ol style="list-style-type: none"> （1）基本的には、学校は「地域の元気、地域の拠点」として存続させる。 （2）学校統廃合は、保護者や地域住民の意向を把握しながら進め

	<p>る。</p> <p>3 平成28年度以降の学校統廃合の適否の検討について説明。</p> <p>(1) 次年度の児童生徒数・学級数が内定する毎年1月を判断基準月とし、学校統廃合の適否を検討する。</p> <p>①次のような状況の場合、統廃合計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校は児童数が10人未満の状況が2年以上続くと予想される場合。 ●学年の児童数0人の学年が2学年になることが予想される場合。 ●保護者や地域住民等から、統廃合の意見書等が出された場合。 <p>②統廃合計画を提示し、適宜、地区・保護者意見交換会等を開催し、十分意向を把握し、統廃合を進める。</p> <p>(2) 存続する小規模校についても、より一層学校と連携しながら良好な教育環境の整備に努める。</p> <p>○小規模校の統廃合に関するアンケート調査結果について説明。</p> <p>実施地区：6地区（生福、羽島、旭、荒川、冠岳、川上地区）</p> <p>検討対象校：小学校6校 （羽島、荒川、旭、生福、冠岳、川上小学校） 中学校2校 （羽島、生冠中学校）</p>
<p>富永委員長</p>	<p>只今、説明がありました、何か意見はありませんか。</p>
<p>富永委員長</p>	<p>説明会の中で、統廃合の検討会ではなく、統廃合の適否の検討であると説明がありました、適否の検討をして、「適」となった時には、統廃合の検討に即入るという捉え方ですね。</p> <p>統廃合の検討と、適否の検討とはどう違うのか非常に分かりずらく、検討会に参加された方から質問を受けたりしました。</p>
<p>有村教育長</p>	<p>クラス替えのできない小・中学校は、早急に統廃合の適否の検討に努めるよう国から要請があります。</p> <p>そのような事から、まず、アンケートを取ってみて、保護者や地域住民の意見を伺ったところです。</p> <p>資料「いちき串木野市立小・中学校の統廃合について」の3に示しているような状況が予想されますと、委員会としては「適」として、進んで行きましょうということです。</p> <p>ここ2～3年は、このような状況にはなりませんので、統廃合については、「否」となっていくと思います。</p>

富永委員長	「小学校は児童数が10人未満の状況が2年以上続くと予想される場合」の捉え方については、ここでは、特認校生の人数は入れないで考えていますか。
有村教育長	特認校生を入れて考えております。
富永委員長	アンケート結果で、「現状ではやむを得ない」を統廃合推進に入れるのか、どう判断するのかということ等もあるかと思いますが、考え方としては、資料に掲げてあるような状況になったときには、統廃合検討のテーブルの上に載せて、総合教育会議の中で、方向性を付けていくという考えでいいですか。
有村教育長	<p>毎年1月を判断基準月とし、学校統廃合の適否を検討して、資料の3に示してあるような事態が見込まれる場合は、統廃合計画を作成し、地域への説明会を再度実施していきたいと考えております。</p> <p>最後は、地域住民や保護者の意見が一番大事なので、十分配慮しながら進めていきたいと考えております。</p>
福田委員	資料の3で、次のような状況の場合は統廃合計画を作成するとありますが、市長の意向に係わらず、こういう事態になった時には、必ず検討するということですか。
有村教育長	総合教育会議の中で、市長に資料を示し、「統廃合の適否については、今後、教育委員会としては、このような形で進めていきたい」旨を説明したいと思っております。
福田委員	いずれにしても、条件が整えば統廃合計画を作成していくということですね。
有村教育長	<p>はい。統廃合計画を作成して、定例教育委員会にお諮りし、地区説明会に入っていくというふうに考えております。</p> <p>文科省は、クラス替えが出来ない学校は問題が大きいといっております。</p> <p>児童数が10人未満になったり、0人の学年が2学年以上になると、教育上問題が大きすぎると思います。</p>
福田委員	このような状態になると、住民も納得されるのではないのでしょうか。
富永委員長	統廃合することでのメリット、デメリットをしっかりと説明する中で、保護者、地域住民の回答を得ながら進めるのが必要ではないかと

有村教育長	<p>思います。</p> <p>今回の説明会では、小規模校の良さと課題、また、課題の緩和策等の説明は致しましたが、統廃合のメリット、デメリットは説明しておりませんので、統廃合するとなった時には、委員長が言われるように、統廃合のメリット、デメリットも説明しなければならないと思います。</p>
徳重委員	<p>デメリットの方策は、学校がしなくちゃいけないということですよ ね。</p>
有村教育長	<p>学校がする部分、行政がする部分があります。 例えば、施設設備を整えるのは行政しか出来ません。 指導法の改善とか、学校行事の組み方とかは学校で努力してもらわなければなりません。</p>
徳重委員	<p>学校の先生、子ども達もですけども、私たちが学校の存続に向けて取り組むというのも今からは大事になってくるかと思っています。</p>
有村教育長	<p>複式学級の経験者を配置したり、指導法の改善ということでは、旭小学校が昨年研究公開を実施しました。川上小ではタブレットを使った授業をするなどして、複式学級の教育を進めております。</p>
宮之原委員	<p>アンケート結果を見ると、人数はかなり少ないですが、教職員の意見で「行うべきでない」という意見があるのは意外でありますけれども、会場の住民の方々に気を使われて出た意見なのかなと思います。 先生方は、現場の小規模校の教育に携わって、何か思うところがあると思うのですが、そこら辺りはどのように考えますか。</p>
有村教育長	<p>分析するのは非常に難しいと思います。教職員の出席者は殆どが、校長、教頭先生なので答えづらい部分もあるのかなと思います。 学習成果というのは、色んな意見がぶつかり合うものです。 30人以上の学級のほうが教育上いいというのは分かっておりますので、それに近づけるように小規模校の教育を上げようと努力をしております。 どちらが良いですかとなると30人以上の学級のほうが良いですというふうになっていくと思います。 ただ、そうは言うけれども、地域の実態とか、学校の実態を見ると、統廃合はしない方がいい、複式で一生懸命やった方がいいという立場の方が多いいということなのではないでしょうか。</p>

<p>富永委員長</p>	<p>これを、出発点として、本市にあった判断の仕方というものがあると思いますので、どういう方向が良いのかというの、しっかり捉えながら、このようなスタンスを持ちながら検討していくという事でよろしいですか。</p>
<p>有村教育長</p>	<p>最終的には、保護者や地域の方々が100%納得する形に近づくような状態で統廃合を決断するというスタンスで行きたいと思っています。</p> <p>後々、批判の声を聴くことの無いように、最後は教育委員会の責任において、地域、保護者の責任ではなくて、私どもの責任において統廃合を進めて行くことが、教育行政の筋だと考えております。</p>
<p>富永委員長</p>	<p>この件については、これでよろしいですか。</p>
<p>各委員</p>	<p>はい。</p> <p>○1月～2月教育委員会行事報告及び行事計画について（各課報告） ○次回定例教育委員会の日程について 2月18日（木）14：00から ○総合教育会議について 2月18日（木）15：00から</p> <p>それでは、以上で1月定例委員会を終わります。 （午後4時10分）</p> <p>本会議録は正当なることを認め、ここに承認する。</p> <p>平成 28年 2月 18日</p> <p>委員長 富永伸博</p> <p>教育長 有村 孝</p>